

8 キャリアデザインに応じた交流・派遣等

(1) 交流等

宮崎県教育委員会では、「教職員人事異動方針」に則り、以下のような交流等を行っています。これらの交流は、教員としての専門性や社会性の向上が期待されます。キャリアデザインを描く際、ぜひ参考にさせていただきたいと思います。

交流等	概要	対象者	期間
へき地計画交流	へき地教育の振興を図り、本県の教育水準を維持・向上させるために、教職員人事異動方針に基づいて実施されるへき地計画交流対象校と、へき地計画交流対象校以外の学校等（平地校等）との転任	現に平地校等に勤務し、平地校等勤続3年以上の者	原則3年
五ヶ瀬中等教育学校に係る人事交流	五ヶ瀬中等教育学校の教育振興のため、教職員人事異動方針に基づいて実施される、五ヶ瀬中等教育学校と五ヶ瀬中等教育学校以外の小学校、中学校及び県立学校等との転任等	五ヶ瀬中等教育学校以外の学校に勤務し、勤続3年以上の者	原則3年以上
県立中学校に係る人事交流	宮崎西高等学校附属中学校及び都城泉ヶ丘高等学校附属中学校の設置に伴い、教職員人事異動方針に基づいて実施される、県立中学校と県立中学校以外の小学校、中学校及び五ヶ瀬中等教育学校〔前期課程〕との転任等	県立中学校以外の学校に勤務し、勤続3年以上の者	原則5年以上
その他の交流	以下の学校種別間の交流があります。 ・公立小学校と公立中学校との交流 ・公立中学校と県立高等学校との交流 ・公立小・中学校と特別支援学校との交流		
宮崎大学附属幼稚園・小学校・中学校での勤務	宮崎大学附属学校・園に勤務することもできます。勤務条件等が公立小・中学校と異なります。		

へき地校勤務を経験して

私は、「へき地の学校へ行って、教員としての幅が広がった。」という先輩の先生の話をつきかけに、家族とも相談をし、勤務2校目でへき地校勤務を希望しました。不安を抱えての転勤でしたが、豊かな自然、純朴な子どもたち、あたたかい保護者や地域の方々に囲まれ、毎日が充実した日々でした。

特に、若い私にとっては、保護者や地域との交流が、教師としても社会人としても大きく成長させてくれました。大人も子どもも故郷を愛し、故郷を大切にしている姿勢は地域の教育の原点を感じ、その一員になれたことをうれしく思っています。

へき地校勤務により、人、地域の大切さを改めて学ばせていただき、その後の教育に対する姿勢や教育活動に大いに生かすことができました。3年間という短い期間でしたが、へき地校で勤務したからこそ今の自分があると感じています。

(中学校 50代 男性)

宮崎西高附属中学校勤務を経験して

以前から高校での教科指導に関心があり、県立中学校への勤務を考えていたところ、校長先生から勧められ、宮崎西高附属中学校で勤務することができました。

宮崎西高での教科部会は高校の先生方と行き、6年間の教科指導の在り方、中学校ではどんな力が必要なのか多くの示唆をいただきました。教材研究の成果が生徒の反応に結びつき、授業の大切さを改めて実感しました。また、中高一貫校から生徒の将来を見据えた進路指導の在り方についても学ぶことができました。さらに大学との連携や校外学習等の特色ある教育活動がとても魅力的で、生徒と活動するのが毎日楽しみでした。高校での授業を受け持ったときには苦労がありましたが、その経験があったからこそ中学校での教科指導はどうあるべきかを改めて考えることができました。この経験が現在勤務する中学校での教科指導、進路指導に生かされています。

(中学校 30代 男性)

宮崎大学附属小学校勤務を経験して

校長先生から「宮大附属小で勤務してみないか。」と勧められ、教科指導に自信のない私としては返事を大変悩みました。ただ、せっかくの機会をいただいたので、自分の勉強だと思い勤務を希望しました。

不安な日々が当初は続きましたが、経験豊富な先生方の適切なアドバイス、教科指導については、いつでも議論できる環境、県外の先生方との交流等、充実した毎日でした。特に、私にとっては研究の在り方・進め方、考え方の視点、授業構想の考え方、統計処理等学ぶことが大いにありました。もちろん忙しい時期もありましたが、同僚の先生方と同一歩調で進めていく研究は楽しさを感じる時もありました。また、実習生の指導も人材育成の視点からやりがいのある仕事でした。これらの経験は、教科指導に限らず、現在の教育活動の宝となっています。

(小学校 40代 女性)

(2) 派遣

宮崎県教育委員会では、文部科学省やJICA（独立行政法人「国際協力機構」）の依頼を受けて、在外教育施設派遣やJICA青年海外協力隊派遣（現職教員特別参加制度）を行っています。また、県立学校の教諭を対象に知事部局への派遣も行っています。いずれも、諸外国や行政職の勤務を通じて、教員としての専門性や、幅広い社会性を身に付けることができます。

	目的	対象	派遣までの流れ	その他
在外教育施設派遣	海外子女教育の重要性に鑑み、日本人学校・補習授業校の教育の充実を図るため、教員を派遣しています。	小・中学校の 校長 副校長・教頭 主幹教諭 指導教諭 教諭	1 宮崎県の選考・推薦 2 文部科学省の選考・決定 3 研修後、派遣	○ 派遣期間は原則2年間（1年間の延期可）です。 ○ 配偶者が現職教員の場合は、配偶者同行休業制度が活用できます。 ○ 昭和51年度からこれまで237名を派遣しています。（平成29年3月末現在）
現職教員特別参加制度 青年海外協力隊派遣 JICA	自分のもっている技術・知識や経験を生かし、発展途上国の人々の役に立つため、教員を派遣しています。	主幹教諭 指導教諭 教諭 ※ 3年以上の勤務経験が必要。 年齢は20歳から39歳まで。	1 宮崎県の選考・推薦 2 文部科学省の選考・推薦 3 JICAでの選考・決定 4 研修後、派遣	○ 派遣期間は原則2年間です。 ○ 家族同伴の参加は認められていません。 ○ 平成13年度からこれまで14名を派遣しています。（平成29年3月末現在）
知事部局	県の産業振興施策の動向等について、実務を通して学ぶ機会をつくり、教職員としての経験・視野を広げることがを目的として教員を派遣しています。	県立学校の 主幹教諭 指導教諭 教諭	1 県教育委員会における選考・決定 2 派遣	○ 派遣期間は原則2年間です。 ○ 派遣終了後は、原則として学校に勤務します。 ○ 平成26年度からこれまで6名を派遣しています。（平成29年3月末現在）

日本人学校を経験して

■ 教師として自分自身と勝負

「教師としての自分自身と勝負してみたい」という思いから教職17年目(30代)の時に日本人学校を希望しました。

日本人学校で、日本全国から集まっている子どもたちの進学先と一緒に考えることは、非常に難しいことでした。しかし、将来の見通しをしっかりとたせれば、具体的な進学先は決まることを感じ、キャリア教育の大切さを実感しました。また、全国各地から集まった教職員とよりよい学校づくりについて議論を重ねたことはとても貴重な経験でした。

■ 世界や宮崎のために活躍する人材へ育てほしい

現在は、中学校で勤務していますが、世界の出来事に敏感になりました。特に、国際関係について先進国だけでなく途上国の立場から実体験をもとにした幅広い教材研究ができるようになりました。

日本人学校で特に印象に残っていることは、「子どもたちの多くが、世界の国々のために働きたいという強い意思をもつようになる」ということです。本校の生徒にも、世界や宮崎のために活躍する人材へ育てほしいという思いも込めながら、授業やキャリア教育を行っています。これからも、日本人学校で学んだことや経験を、子どもたちの夢の実現に生かしていきたいと考えています。

(中学校 40代 女性)



フードビジネス推進課を経験して

■ 外からの視点で学校を見るという得がたい経験

私は高等学校の教諭として食品に関する指導を行ってきましたが、学校現場を離れ、宮崎県フードビジネス推進課に2年間勤務しました。経験のない事務関係の業務に慣れるのは大変でしたが、外からの視点で学校を見るという得がたい経験をすることができました。

2年間で多くの業務を担当しましたが、特に印象深いものが2つあります。1つは、食品加工工場における衛生管理の指導です。これは、衛生管理の専門家がチームを組んで県内の食品加工事業者に対し衛生管理・品質向上に関する指導を行い、販路拡大につなげるものです。もう一つは、企業への雇用に関する補助金の交付です。これは、県内の食関連企業が新しい分野に挑戦する計画を、人件費を中心とした雇用面からバックアップし、企業の成長に結びつけるものです。

■ 様々な業界の方とのネットワークを築く事が大切

このような業務を通じて、学校では知り得なかった県内の食関連企業のビジネスの実際や、人材確保・人材育成の現状等を知ることができ、学校教育における人材育成の重要性や課題を感じました。人材育成は、学校だけでなく、企業と連携して行う事でより良いものになると思います。そのためにも、教員は、積極的に学校外に出て研修や交流を行い、様々な業界の方とのネットワークを築く事が大切だと思います。これは、フードビジネス推進課で勤務しなければ分からないことであり、私にとって、とても貴重な2年間になりました。

(高等学校 40代 女性)